

令和2年度

Society5.0時代への対応

～スマートシティの実現に向けて～

より便利で豊かな生活が送れる社会の実現を目指し、Society5.0時代にふさわしい仕組みづくりが求められています。

この研修では、AI、IoT、ビッグデータなどの先進的技術を知り、それを交通や防災などの課題解決のために活用する「スマートシティ」への転換について、先進事例を学びながら、考えます。

開催要領

日程

令和2年7月20日(月)～7月22日(水)(3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

スマート自治体やスマートシティの実現に向けた施策に関わる または関心のある 市区町村等の職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和2年6月1日(月)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

7月

20日(月)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 「Society 5.0時代の地方」を実現するスマート自治体への転換

HIRO研究所 代表 廣川 聡美 氏

スマート自治体とは何か、なぜスマート自治体への転換が求められるのかご講義いただき、全国的な進捗状況や課題を踏まえた自治体としての取組のあり方について学びます。

14:25~15:35

事例紹介① スマート自治体

熊本県宇城市企画部 部次長 天川 竜治 氏

鳥取県米子市総合政策部情報政策課 課長 堀口 修治 氏

コーディネーター:HIRO研究所 代表 廣川 聡美 氏

RPA(ロボットによる業務自動化)やAI(人工知能)を活用したスマート窓口の導入に向けた取組について先進自治体の事例をご紹介いただき、質疑と意見交換を通して学びを深めます。

15:50~17:00

意見交換 各自治体の地域のビジョンや課題を持ち寄り、受講者同士で意見交換します。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:55

講義 スマートシティの実現に向けて

内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室 政府CIO上席補佐官 平本 健二 氏

スマートシティとはどのような姿なのか、また国における取組や今後の予定・展望を踏まえ、自治体に求められる役割等についてご講義いただきます。

11:10~12:10

講義 事例から学ぶスマートシティ

アクセンチュア・イノベーションセンター福島 センター長 中村 彰二郎 氏

事例紹介に先立ち、地域の課題を解決するためのスマートシティ推進のポイントや、事例を学ぶ際に注目すべき点等についてご講義いただきます。

事例紹介②③

13:10~14:55

AIを活用した防災の取組

AI防災協議会 事務局長/LINE株式会社 公共政策室 室長 福島 直央 氏

神戸市危機管理室 総務担当課長 末若 雅之 氏

15:15~17:00

MaaS

MONET Technologies株式会社 事業推進部 東日本地域事業推進課課長 兼 担当部長 小澤 拓郎 氏

愛知県豊田市企画政策部未来都市推進課 担当長 堂山 誠也 氏

コーディネーター:アクセンチュア・イノベーションセンター福島 センター長 中村 彰二郎 氏

AIを活用した防災、MaaS(Mobility as a Service)について、現在どのような取組がなされているのか、また今後どのような仕組みが実用化される見込みなのか等について事例を通じて学びます。

9:25~11:10

事例紹介④ 「スマートシティ会津若松」の取組とビジョン

福島県会津若松市企画政策部

アクセンチュア・イノベーションセンター福島 センター長 中村 彰二郎 氏

「スマートシティ会津若松」の取組についてご紹介いただきます。

11:25~12:00

講義 まとめ

アクセンチュア・イノベーションセンター福島 センター長 中村 彰二郎 氏

事例紹介を通じた学びを今後自治体の業務にどう活かすか考えます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和2年

7月

21日(火)

令和2年

7月

22日(水)